

2025



ふるさとの風だより

第25号

第二地区まちづくり協議会会誌

令和7年4月



シャッフルボードで頭と身体をフル稼働！



2月16日本協議会初めてのスポーツ競技のシャッフルボード大会を開催しました。シャッフルボードは、氷の上で行われるカーリングを床の上に移したようなゲームで、ディスクを操作する身体能力だけでなく、頭も使ったチームとしての作戦も

たいへん重要です。また、チーム競技であるため、作戦がうまく行ったときのうれしさやその逆の場合のくやしさも倍増、参加した35名の参加者のみなさんすべてが、心から没頭しゲームを楽しみました。

●発行 第二地区まちづくり協議会



〒515-0033

松阪市垣鼻町633 Tel. 0598-20-8402



<http://dai2.life.coocan.jp/>

● 芸能大会



11月17日、約120名の参加を得て、芸能大会を開催し、15チームが普段の練習・鍛錬の成果を披露しました。どれもすばらしい盛り上がりで、華やかな大会となりました。



● ハイキング

10月10日、16名がバスで伊勢に向かい、外宮さんから内宮さんへの約5キロメートルのハイキングを楽しみました。また、年始の1月5日には、20名が、市内の八雲神社、御厨神社、松阪神社をめぐる新春歩こう会を楽しみました。



● 健康ウォーキング

12月15日、市のマラソン大会と並行して行われた健康ウォーキングのおもてなしを神戸地区のみなさんと協働で行いました。約1000人のウォーカーに暖かいお茶とお菓子、そして大正琴や太鼓での音楽を提供しました。



● 歴史講座

9月25日、松阪市文化財センターの村田匡（ただし）学芸員を講師に迎え、船形埴輪の発掘から国宝指定にいたる経緯など、たいへん興味深いエピソードを語っていただきました。松阪が持つ唯一の国宝です。どのようなものか、集まった7名の参加者は真剣にお話を聞いていました。



● スマホ教室



2月3日から2月21日の間に、計6回のスマホ講座を実施し、中村有紀先生のご指導のもと、延べ28名の参加者が基本的な操作から、LINE、カメラなどのアプリの使い方について学習しました。デジタル時代となって久しい今日ですが、それになじめず社会で生きる楽しみを奪ってはなりません。受講者は熱心に先生に質問し、教えてもらっていました。



● 星空の観察教室



11月9日、夕刊三重で天文教室を連載されている地元の水谷潔先生を迎え、2回目の夜空の観察教室を開催しました。集まった9名の参加者は望遠鏡を覗き、月のクレーター、金星、土星の姿に驚きの声をあげていました。

● 文化祭



11月8日、第二小学校の文化祭に合わせて2階理科室にて第二公民館で創作活動をする5つのグループが力作を展示しました。第二小学校の児童や保護者の方々にも、日頃の成果を見ていただきました。



● 元気アップ事業

・ 元気アップ体操



1月16日と3月13日に山中美幸先生による元気アップ体操を行い、それぞれ14名、12名の参加者が、身体を使う体操だけでなく、頭も使う体操を楽し行いました。

・ みんなで歌って元気アップ



また、1月24日には、越知愛幸子先生の歌による第2回目の講座を開催し、20名の参加者が約20曲を歌いました。体を動かすことや声を出すことは免疫力を高め、元気をいっぱいもらえると参加者からたいへん喜んでいただきました。

● 友愛訪問



1月末から2月上旬にかけて、「友愛訪問」を実施しました。この事業は、90歳以上の高齢者のお宅を訪問しご長寿をお祝いするものです。今年は、民生委員や自治会長が、ご長寿のお祝いの品のお茶とお菓子をもって110名の方を訪問しました。



● 第二キッズさんとのコラボ



放課後児童クラブの第二キッズさんとのコラボ事業として、10月30日にハロウィン、12月24日にクリスマス会として交流会を開催しました。普段会わない地域の人との交流をこどもも大人も楽しんでくれたかな。



● あったかごはんプロジェクト



生活にお困りの方に少しでもあったかい日々を送っていただくことを願い、12月23日と1月24日にそれぞれ、60セットと100セットのおにぎりとお菓子を用意し公民館で配布しました。

● 第二小学校とのコラボ事業

● キッズ認知症サポーター養成講座



11月15日、第一包括支援センターとの共催で6年生のこどもたちに、認知症の方をサポートするスキルを身につける講座を実施しました。これで、思いやりの心をもって、身近な人を助けてあげられますね。

● 昔のあそび



昔のこどもたちがどのような遊びをしていたのか、その遊びがデジタル時代の今でも十分に楽しく、心を輝かせるものであることを体験してもらうため、1月21日に2年生32名に折り紙体験、1月27日には5年生35名を対象にコマ回し、ヨーヨー、けん玉、あやとりなどのおもちゃをつかった遊びをいっしょに行いました。シンプルだけれど奥の深い昔のあそび、こどもたちの感性が揺すぶられたようでした。

● 昔のくらし



1月30日、3年生34名のこどもたちを対象に、七輪をつかった炭の火起こしから餅焼き、あられ煎りなどの昔のくらし体験学習を行いました。

マッチを擦るのも、心臓はドキドキ、勇気があるものです。きっと心に残る体験になったことと思います。

● たこあげ体験



2月20日、4年生のこどもたち29名で、山下町の総合運動公園に行き、凧揚げ授業を行いました。幸い天気にも恵まれ、すべてのこどもたちが大空高く凧あげを成功させ大きな歓声が響き渡っていました。

● 防災のまちづくり



10月26日、約40名の地域の方が第二小学校で行われた市の防災訓練に参加しました。この日は、避難所の設置をメインとし、マンホールトイレ、発電機のスタート、体育館での避難体験をしました。また、2月22日の防災講演会には、約50名が出席、能登の震災の応援に行っていた市の若林大樹さんの災害派遣報告、そして防災士の野呂昌彦さんの避難するときの5つの選択についての話をうかがいました。

● 防犯灯の整備

昨年夏の5基にひきつづき、垣鼻3区、プレシャスシティ松阪のエリアにそれぞれ、1つずつ計2基の防犯灯を整備しました。今後も地域の安全のための設備を充実していきます。



○ コミセン化と指定管理への準備について！

「まち協だより」等でもお知らせしているとおり、本協議会は、松阪市が進めている地区公民館のコミュニティセンター化とそれに伴う令和8年度からの指定管理制度による地域での管理運営について、検討し今年度を準備期間としていくことにな

りました。これにより今後、より柔軟なコミュニティ活動が期待され、地域課題の解決のため力をつけていきたいと考えております。地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

松阪市

第二まち協

指定管理者制度

地方自治法及び条例に基づく制度で、今回の場合、施設（コミュニティセンター）の設置の目的を効果的に達成するため、議会の議決を経て松阪市が指定する住民自治協議会を「指定管理者」として施設の管理を行わせるというものです。